

太良町長
百武豊殿

鹿島市・太良町合併検討協議会（仮称）の 参加者についての申し入れ

2003.4.7

明日の太良町を考える会

代表 川上賢二

（「合併問題を考える太良町民の会」の名称を変更しました）

4月7日午後、「鹿島市・太良町合併検討協議会（仮称）」の第1回会合が開催されます。太良町と鹿島市との合併そのものは、このあと住民投票によって決せられることですが、検討協議会の参加者について疑問があるので、下記の通り申し入れます。

1、 旧杵藤西部地区任意合併協議会の委員が横滑りすべきでない

検討協議会の参加者として「旧杵藤西部地区任意合併協議会委員」（市長・町長、議会議長、助役、学識経験委員）が指定されています。しかし、旧杵藤西部地区を枠組とする合併案は1月24日の町議会の議決（法定合併協議会設置議案の否決）によって白紙にされており、その時の委員はその任を解かれています。鹿島市と太良町の合併協議は全く新しい協議であり、旧杵藤西部地区任意合併協議会委員をそのまま横滑りさせることには何の根拠もありません。

検討協議会の委員は改めて選出しなおすべきです。

2、 検討協議会の委員は合併についての賛否両論の町民を含むべきである

法定合併協議会もその協議事項の中には「合併の是非」についての協議も含むとされています。ましてや、今回は任意合併協議会にも至らない「検討協議会」です。この場では、当然鹿島市と太良町の合併の是非も検討・協議されなければなりません。

昨年秋に太良町がおこなったアンケートでは、合併反対が賛成を上回っています。このアンケートの結果からも、民間から選ばれる学識経験者には町民の賛否の世論が反映されるべきです。

3、 合併推進団体の代表とあわせて、合併反対の団体からも委員を出させるべきである。

特に、「学識経験者」とされている委員の1人は、「太良町合併推進協議会」の代表をつとめている町民です。

百武町長は「合併については、賛成の町民も、反対の町民も議論をしていただいて----」という趣旨の発言をくりかえしています。この町長の発言の趣旨からいっても、今回設置される検討協議会には、合併推進団体の代表とともに、合併反対の団体からも当然委員を出させるべきです。

以上